

学校だより（6月）

# 希望の子

【脊振を愛し 進んで学ぶ たくましい子どもの育成】

平成2年度  
神崎市立脊振小学校  
第6号 6月24日  
文責：校長 小池 充

## 啐啄（そったく）の機

6月18日(木)の全校朝会で下記のような話をしました。

私が、小学生のころ通学路の駐車場にツバメが巣を作っているところを見つけました。ある日、ツバメの雛が一羽、巣から落ちていました。可哀想に思って、そっと巣に戻しておいたのですが、次の日もまた巣から雛が落ちていました。どうも前日と同じ雛のようです。車庫の持ち主に話をし持ち帰り、餌を調べて、雛にやろうとするのですが、食べません。とうとう雛は、死んでしまいました。

その後も、2、3回雛を救おうとしたのですが、残念ながら救うことはできませんでした。

時は流れ、私は、大きくなって教師となり、島の学校に赴任しました。ある日、教室の窓に鳶が激突し目を白黒させていました。子どもの時のツバメのことを思い出し、助けることは無理かも知れないと思いつつ、餌を口元に持って行きました。すると、鳶が何とか食べたのです。鳶は、だんだん元気を取り戻し、次の日、大空へと羽ばたいていきました。

助けた人を担任の先生とたとえると、いくら担任の先生が、よかれと思ってやっていることも雛や鳥、つまり皆さんががんばろうと思わないとよりよく成長していかないのです。先生達も皆さんもともにがんばって、皆さんが大きく成長することを願っています。

さて、標題の「啐啄（そったく）の機」ですが、“啐”とは雛が孵化しようとしているとき、雛が内からつつく音のこと。

“啄”とは、母鳥が外からそれを外側からコツコツとつつく音のこと。

この両者のタイミングが一致していることが重要で、親鳥のサポートが早すぎても、遅すぎても、いけないのです。

つまり、「人を育てる際には、機（タイミング）が大事」ということを意味しています。脊振小学校では、「啐啄の機」を意識し、子どもたちを自立に培う教育を行っています。

## チーム脊振募集

脊振小学校に勤務して1年余が過ぎました。この1年を通じて感じたことは、脊振小が、いかに地域の人に愛され、ご協力をいただいているかということです。子ども達の成長には大きな力となっており、感謝いたしております。

標題の「チーム脊振」とは、小学校だけのことを意味するものではありません。脊振小学校に関わる全ての人のことです。

脊振小学校の情報は、この学校便り「希望の子」や学校のホームページで発信しておりますので、よろしければご覧いただけるとありがたいです。

また、学校が配信しております「はなまる連絡帳」のメールにもご登録いただくと学校のことがよくわかりになると思います。

子どもたちの下校時刻に合わせて散歩するなど「できる人ができるときにできるぶんだけ」というちょこっとボランティアで学校に協力していただける方を募集しています。



学校ホームページQRコード

## 【7月の主な行事予定】

- 1日(水) ドリームパーク
- 2日(木) げんきタイム
- 3日(金) スピーチタイム・外庭掃除
- 6日(月) 代表委員会  
家庭学習がんばろう週間(→10日)
- 9日(木) お話会
- 10日(金) 平和集会
- 13日(月) 特別校時(→17日)
- 23日(木) 《祝》海の日
- 24日(金) 《祝》スポーツの日
- 28日(火) 地区児童会・大掃除
- 31日(金) 1学期終業式

## 7月の生活目標

決まりを守って明るい生活をしよう！

※裏面にメール登録の案内を載せています。

